

8-9

誤嚥性肺炎防止にむけての取り組み

嚥下委員会と食事栄養課で力を合わせて

誤嚥防止

個別ケア

特別養護老人ホーム 白十字ホーム

介護士 堀川 陽子（仮名 ほりかわ ようこ）	介護士 村井 亜矢子（仮名 むらい あやこ）
東京都東村山市諏訪町 2-26-1 白十字ホーム	

TEL： 042-392-1375	E-mail： hakujuuji@mua.biglobe.ne.jp
FAX： 042-392-1255	URL： http://www.hakujujikai.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人 白十字会は民間の医療社会事業団体として明治 44 年に設立され、 東村山市内に特別養護老人ホーム（白十字ホーム）、デイサービス、病院等を開設しています。 当ホームは昭和 42 年、都内で 10 番目の施設として誕生しました。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉

- 誤嚥性肺炎を防止するため嚥下委員会を発足
口腔ケア・食事内容・食事環境について検討
- 摂食・嚥下機能の低下に対応した食形態の検討
- 個別に応じた食事の提供

〈具体的な取り組み〉

- 口腔ケアの正しい方法を学習
- 食事内容の見直し→きざみ食の廃止
濃厚粥のゲル化など
- 食事環境の見直し→TV視聴をやめBGMを流す
個別にあったテーブルの調整
- 食形態の見直し →常食①、常食②、濃厚食へ
調理方法・提供方法などで
差をつける
- 食事の個別提供 →食形態を固定化せずに献立や
利用者のレベルに合わせた食事
を提供する事

〈活動の成果と評価〉

- 嚥下委員会の中での学習を通して、口腔ケアの
方法や誤嚥に対する理解を職員に浸透させるよう
努めた
- 嚥下委員会と食事栄養課の連動で、入所者の個別に
対応した食事の提供ができるようになった
- 食事への介入で、嚥下機能に問題のある入所者にも
低栄養の予防ができた。

〈今後の課題〉

- 圧力鍋を使用しても肉などの繊維ははくならない等
の食材への工夫
- 食前・食後の口腔ケアの徹底と食事時の姿勢の見直
し
- 厨房と介護職の協働でさらなる改良をすすめ、安全
に美味しく食事ができるようにしていく



誤嚥性肺炎の防止につながる

【メモ欄】